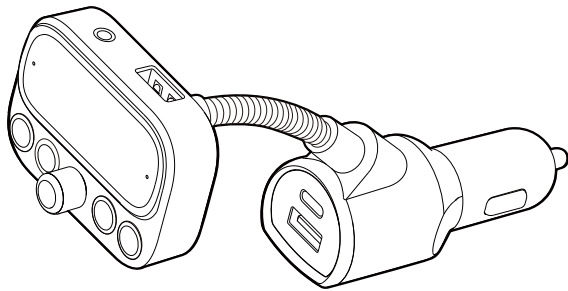


# FM TRANSMITTER

Bluetooth Ver5.0

## 取扱説明書

KTB29



### 安全上のご注意

本取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。  
また、ご使用になる接続機器の取扱説明書の「Bluetooth」に関する項目もあわせてお読みください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。ここに記した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、彼方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

**警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。  
被害事象：異常発熱・火災・感電・事故・誤飲・破裂・ケガ・熱傷など。

- 車の運転中は操作しない。
- 車外の音が聞こえない音量で使用しない。
- 運転に支障をきたす場所・エアバッグなどの作動時に支障をきたす場所に放置しない。
- 分解・改造をしない。
- 製品に金属などを差し込まない、接続端子を金属などでショートさせない。
- 水につけたり濡らさない・水濡れ品は使用しない・濡れた手で使用しない。
- 指定の電圧以外の電源で使用しない。
- 使用前に各接続部を確認し、ホコリなどの付着や接続部の変形・破損したものは使用しない。
- カープラグが傷んだり、アクセサリソケットへの差し込みに異常がある場合、使用しない。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具などのそばや、炎天下で密閉された車内、湿度の高い場所で使用・保管しない。
- 乳幼児・小児の手の届く場所で使用・保管しない。
- 使用しない場合、全ての接続箇所をはずし、安全な場所に保管する。接続したまま放置しない。
- 使用時に接続部を確認してまっすぐ接続し、無理な力を加えて接続しない。
- 火中に投入しない。電子レンジ、オープンなどで加熱しない。
- 雷がなりはじめたら、安全のため本製品や接続されている各機器にさわらない。
- 重い物を載せたり、落下しやすい場所、磁気、ホコリの多い場所に置かない。
- お手入れの際は、各接続部を取りはずす。
- 投げたり、衝撃を与えない。

**注意** 人が軽傷および物的損害を負う可能性が想定される内容。  
被害事象：出力出ず・反応せず・断線・腐食・破損・故障・ケガなど。

- 接続端子電極部に水分を付着させたり、結露した状態で使用しない。
- 充電対象機器を充電中に、本製品や充電対象機器が極端に熱くなったり異常を感じた場合は使用しない。
- 5℃から35℃の屋内環境で使用。それ以外の環境では使用しない。
- 0℃から40℃の風通しの良い屋内環境で保管する。
- 製品が高温になる場合があるため、注意する。
- アクセサリソケットの差し込みが極端に硬い場合、無理に差し込まない。
- エンジンをかけた状態でアクセサリソケットに挿し、エンジンを切る前にアクセサリソケットから抜く。

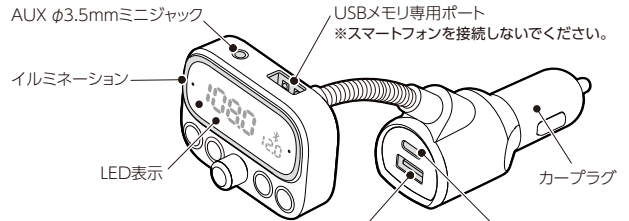
製造・販売元  
**多摩電子工業株式会社**  
〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木 2-6-18

製品に関する  
お問い合わせ

**TEL 044-543-8884**  
受付時間：平日9:00～18:00

## 各部の名称・操作一覧

【本体】 AUX φ3.5mmミニジャック USBメモリ専用ポート ※スマートフォンを接続しないでください。

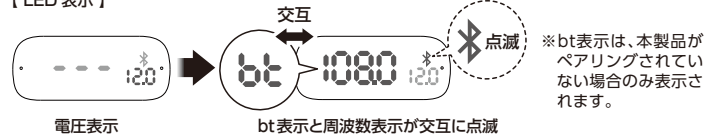


【本体操作部】  
イルミネーション LED表示  
USB-A充電ポート USB Type-C充電ポート  
マルチファンクションボタン (MFボタン)  
曲戻しボタン 曲送りボタン 周波数設定ボタン イルミネーションボタン

### ご使用前に

車のエンジンを始動した状態で、本製品のカープラグを車のアクセサリソケットに差し込むと、電源がはいり、LED表示が【下記の図】のように表示されます。

### 【LED表示】



### ご注意

- ※ソケット内にホコリや異物がないかチェックしてください。
- ※思わぬ音量による事故などの防止のため、あらかじめカーオーディオのボリュームを調節してから電源を入れてください。
- ※必ずエンジンをかけた状態でアクセサリソケットに挿してください。また、エンジンを切る前にアクセサリソケットから抜いてください。

### 【操作一覧】

動作・状態	操作方法	LED表示	電子音
電源 ON	周波数設定ボタン長押し	---	[Power ON]
電源 OFF	周波数設定ボタン長押し	---	---
音量 UP	MFボタンを時計周りに回す	U00 ~ U30	最大時、電子音
音量 DOWN	MFボタンを反時計周りに回す	U30 ~ U00	最小時、電子音
周波数設定	周波数設定ボタン短押し	周波数表示点滅 (5秒間)	---
周波数 UP	曲送りボタン短押し   MFボタンを時計周りに回す	周波数表示点滅 (5秒間)	---
周波数 DOWN	曲戻しボタン短押し   MFボタンを反時計周りに回す	周波数表示点滅 (5秒間)	---
周波数決定	周波数設定ボタン短押し	周波数表示点灯 (5秒間)	---
<b>Bluetooth モード</b>			
ペアリング	車のエンジン始動	周波数表示、bt表示 交互点滅 ※点滅	[Bluetooth Waiting for Connection]
機器と接続	---	周波数表示点灯 ※点灯	[Bluetooth is Connected]
機器と非接続	---	周波数表示、bt表示 交互点滅 ※点滅	[Bluetooth Disconnected] [Waiting for Connection]
音楽再生/一時停止	MFボタンを短押し	---	---
曲送り	音楽再生時 曲送りボタン短押し	曲数表示	---
曲戻し	音楽再生時 曲戻しボタン短押し	曲数表示	---
受話	着信時 MFボタンを短押し	---	---
終話	通話時 MFボタンを短押し	---	---
リダイヤル	待受け時に MFボタンを2回短押し	---	---
通話拒否	着信時 MFボタンを長押し	---	---
USB ↔ Bluetooth モード切替	曲送りボタン長押し	---	---
<b>イルミネーション設定</b>			
カラー切替	イルミネーションボタン短押し	---	---

## 音楽を聴く

Bluetooth接続機器にて音楽などを再生すると、Bluetooth接続機器で再生した曲をカーFMラジオで聴けるようになります。

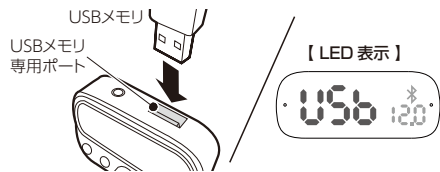
### Bluetooth 接続機器



カーオーディオ

## USBメモリのデータで音楽を再生する

- ① USBメモリを本体のUSBメモリ専用ポートに差し込みます。
- ② 本体のLED表示に「USB」と表示され自動で曲が再生されます。
- ③ その後、LED表示に周波数が表示されます。



### USB←Bluetooth 切替

曲送りボタン長押し

曲送り

曲送りボタン短押し

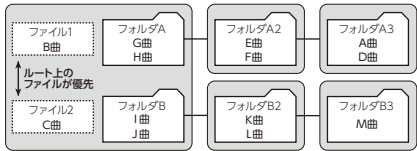
曲戻し

曲戻しボタン短押し

- 曲数は001～1999曲まで表示されます。

### ■ USBメモリ接続時の再生曲順について

USBメモリを接続した場合の再生曲順は、ルートフォルダ（メディア最上階層）に直接保存されたファイル、次に最初にメディアに保存されたフォルダ内のファイル、さらに下層フォルダのファイルと続き、完了すると、ルートフォルダ上の2番目に保存されたフォルダ内のファイル再生へ移行します。同一フォルダ内に複数のフォルダがある場合はメディアに保存された順に再生され、同一フォルダ内に複数の曲がある場合はファイルの作成日時を基準に再生されます。右記の図は、再生曲順を示したファイルおよびフォルダ構成例です。



- 保存曲順 ▶ A→B→C→D→E→F→G→H→I→J→K→L→M
- 再生曲順 ▶ B→C→G→H→E→F→A→D→I→J→K→L→M

**注意**

- ※32GBを超えるUSBメモリは対応していません。
- ※Bluetooth接続中USBメモリを挿入した場合モードが自動的に切り替わります。
- ※USBメモリには対応音楽ファイル【MP3・WMA・WAV・FLAC・APE】以外のデータは入れないでください。
- ※プレイリストの再生には対応していません。

## 電話を使用する

- 電話をかける → Bluetooth接続機器側で発信操作をおこなってください。
- 通話拒否 → 着信時にMFボタンを長押し
- 受話 → Bluetooth接続機器に着信したら、MFボタンを短押しすると通話ができます。
- 終話 → 通話中にMFボタンを短押し
- リダイヤル → 待受け時にMFボタンを2回短押し

### 【LED表示】



着信時

通話時

発信・リダイヤル時

### 注意

- ※通話状態になるまで、少しタイムラグが発生する場合があります。
- ※Bluetooth接続機器側の仕様や設定などによっては、着信音がFMラジオから聞こえない場合があります。着信時は音楽の再生は止まります。
- ※Bluetooth接続機器によっては、通話終了後自動で音楽再生に戻らない場合があります。その場合は、Bluetooth接続機器で音楽再生をおこなってください。
- ※通話拒否時の状態は、Bluetooth接続機器の機種や設定により異なります。
- 例：着信を遮断する・接続できない旨のアナウンスが流れる・留守番電話サービスに接続するなど、詳しくはBluetooth接続機器の取扱説明書をご確認ください。
- ※Bluetooth接続機器によっては本機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。

## イルミネーションの設定

イルミネーションボタンを短押しすると、イルミネーションの設定ができます。

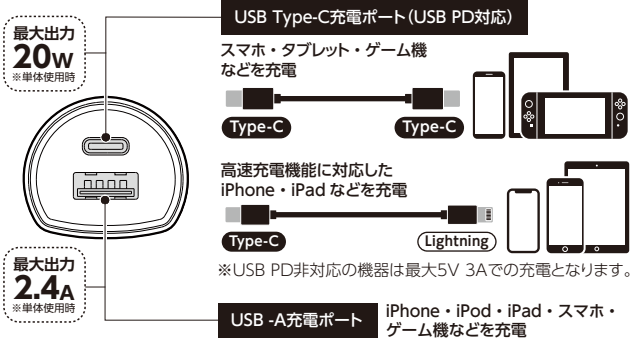
イルミネーションカラー▶ OFF→赤→緑→青→黄→紫→水色→白→虹色1→虹色2→OFF

## 充電する

- ① 本製品のUSB-A充電ポートまたは、Type-C充電ポートに充電対象機器の充電に対応したケーブルのコネクタを接続します。
- ② 充電対象機器に接続すると充電を開始します。

### 使用例

※本製品に充電ケーブルは付属されていません。接続する機器に合わせて別途ご用意ください。



### 注意

- ※接続部をご確認のうえ、まっすぐ接続してください。無理な力を加えて接続しないでください。
- ※充電対象機器や充電対象機器の内蔵電池の状態により、接続後すぐに電話機の充電表示ランプが点灯しないことがあります。そのような場合、数分間の予備充電を経てランプが点灯し本充電が開始されます。
- ※本製品のUSB-A充電ポートに、USBハブなどを使用して複数のUSB機器を接続しないでください。
- ※USBメモリ専用ポートから充電はしないでください。
- ※本製品は全ての機器の充電を保証するものではありません。

## AUXミニジャックを使用する

φ3.5mmステレオミニプラグを本製品のAUXミニジャックに差し込みカーオーディオなどとAUX有線接続ができます。

- ※本製品には接続ケーブルは付属されていません。
- ※AUXミニジャックにφ3.5mmステレオミニプラグを差し込むとFM送信から、LINE出力に切り替わります。

## 保証規定

保証期間 / ご購入日より 6ヶ月

必ず、購入明細書をお書およびパッケージと一緒に保管してください。万一、修理の際は、現品に購入明細書とお書およびパッケージを添え、記載の当社住所までお送りください。なお、修理後の保証期間の延長はいたしません。

- 保証期間内に、本書およびパッケージ記載の注意事項をお守りいただいた正しい使用状況で、万一故障した場合には本製品をお預かり後、無償で修理、または交換します。また、代替品の先送りなどのご対応はいたしかねます。本製品を使用し、接続対象機器が故障した場合、本製品が原因であることが実証された場合に限り、保証範囲内と認めます。ただし、本製品の不具合に関連した生じた、その他の損害・費用・データ損失に関しては、一切の補償をいたしかねます。
  - ※次の場合は保証対象外となります。
  - 1) 本製品(修理対象品)と購入明細書、本書およびパッケージの提示がおこなわれない場合。
  - 2) 本書およびパッケージ記載の注意事項をお守りいただけない場合。
  - 3) 個人売買や正規販売店以外で、ご購入した場合。
  - 4) 地震、火災、落雷、台風などの災害により故障した場合。
  - 5) ご購入後、落下や衝撃などの事象により故障した場合や水没、汚れにより故障した場合。
  - 6) 健康被害が生じた場合。
  - 7) 本製品を紛失・破損した場合。
- 本製品は国産車専用です。輸入車で使用され、トラブルが発生しても当社では責任を負いかねます。
- お預かりした製品が、保証対象外と認められる場合、修理費用等、実費負担をご請求させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 本保証書は日本国内のみ有効です(This warranty is valid only in Japan).
- ご返送時にご記入いただいたお客様の個人情報は、商品の修理に関するご連絡、修理・交換の対応以外の目的に使用いたしません。なお、上記利用目的の実施に必要な範囲で、業務委託先に預託する場合がありますのでご了承ください。

## 1 周波数の設定

一度周波数の設定を行うと、本製品の電源がOFFになっても周波数は記憶されたままになります。

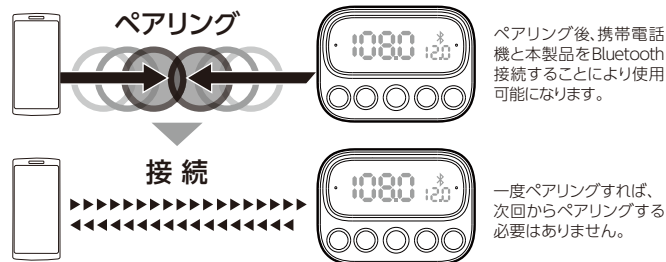
- ①カーFMラジオの周波数をFM放送がされていない周波数に合わせます。
- ②周波数設定ボタンを短押しすると、周波数表示が点滅します。(5秒間無操作だと解除されます。)MFボタンを回すか、曲送り/戻しボタンを押して周波数表示をカーFMラジオの周波数に合わせます。(76MHz~108MHzの間で設定ができます。)

ご注意

※市街地や、別の地域に移動した場合、選んだFM周波数でFM放送を受信してしまうことがあります。その場合は、放送を受信していないFM周波数を再度設定しなおしてください。  
※音声の飛びや途切れ、ノイズが発生した場合は、影響の少ないFM周波数を再度設定しなおしてください。

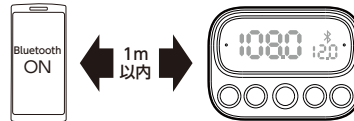
## 2 携帯電話機(スマートフォン)とのペアリング・接続

初めてご使用の際には、スマートフォンと本製品をそれぞれ接続相手として登録(ペアリング)する必要があります。

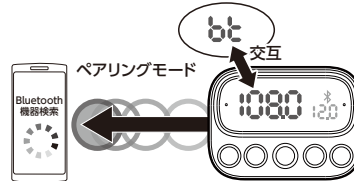


※ペアリングの際は、USBメモリ、ケーブルなど本製品に接続しないでください。

- ①スマートフォンと本製品を1m以内に置き、途中で障害になる物がないことをご確認ください。スマートフォンのBluetooth設定をONにしてください。

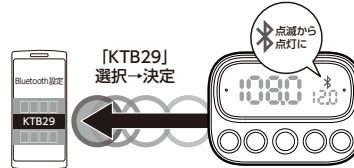


- ②本製品の電源が入ると、LED表示に「bt」と「現在のFM周波数」が交互に表示されペアリングモードになります。



- ③スマートフォンのBluetooth設定方法に従い、ペアリングをおこないます。

- ④スマートフォンが本製品を認識すると、画面の接続機器リストに本製品の型式名「KT29」が表示されるので、携帯電話機を操作し選択してください。



ペアリングが完了しますと、点滅から点灯にかかります。

一度ペアリングをおこなえばスマートフォンや本製品の電源を切ったりBluetooth機能をOFFにするなどして接続が切れた場合でも、次に使用する際に再度ペアリング操作をおこなう必要はありません。ただし、「接続」については、自動で接続までおこなう機種と、スマートフォンによる接続操作が必要な機種があります。スマートフォンによる接続操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

※以下の場合は再ペアリングが必要になります。  
・本製品は最大8台までのペアリング情報を登録できます。9台目のスマートフォンとペアリングをおこなうと1台目にペアリングをおこなったスマートフォンのペアリング情報が削除されます。ペアリング情報が削除されたスマートフォンを接続する場合は、新たにペアリング操作をおこなってください。  
・スマートフォンから本製品とのペアリング情報が削除された場合。  
・ペアリング情報が正しく認識できなくなったり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、再度ペアリングの操作をおこなってください。